

質疑・質問

6月定例会の
主な質問項目

1 後藤武薫議員

- ① 経済対策
- ② 財政問題
- ③ 行財政改革
- ④ 農業問題
- ⑤ 新型インフルエンザ

2 宮本増憲議員

- ① 小学校統廃合
- ② 学校給食
- ③ 補正予算
- ④ 茶産地育成事業

3 西村 豊議員

- ① 農業問題
- ② 福祉問題
- ③ 食育
- ④ 国土調査

4 大野立志議員

- ① 地域活性化・生活対策臨時交付金事業
- ② 鹿野川ダム改造事業
- ③ 食育と学校給食
- ④ 各種事業の計画・実行・検討

5 中野茂明議員

- ① 脇川の安全安心
- ② 長浜第三次開発事業

6 中野寛之議員

- ① 市長の政治姿勢
- ② 期日前投票所の拡充
- ③ 旧簡易保険保養センター
- ④ 茶業振興
- ⑤ 図書館管理運営

7 大野新策議員

- ① パナソニック四国閉鎖関係
- ② 茶業の振興事業
- ③ 新型インフルエンザ
- ④ 伊方原発プルサーマル計画
- ⑤ 乗合タクシー(デマンドタクシー)
- ⑥ J R 大洲駅の改良

8 梅木良照議員

- ① 大洲市全域の一体化
- ② 鹿野川ダムトンネル洪水吐き
- ③ 観光客等交流人口の拡大
- ④ 河辺診療所

9 榊田和美議員

- ① 新型インフルエンザ対策
- ② 経済危機対策
- ③ 新経済対策
- ④ 放課後の子ども居場所づくり

10 二宮 淳議員

- ① 地域経済
- ② 水防対策・火災予防対策
- ③ 自殺者対策
- ④ 河辺診療所の歯科業務
- ⑤ 合併
- ⑥ 長浜駅伝大会

11 武田雅司議員

- ① 行政コストの見直し
- ② 市職員の健康管理と度重なる不祥事
- ③ 地場産業の育成
- ④ 市職員の再就職
- ⑤ 老人施設の消防用設備
- ⑥ 上水道の耐震性

行財政改革

問 行政改革大綱の進捗状況について

答 平成17年度から取り組みを始めた第1期行政改革は、今年度最終年度を

迎えており、市役所を挙げて着実な推進に鋭意努力を傾けているところです。この改革の一番の目的は、厳しい財政状況を改善することであり、事業の選択と集中、また徹底した歳出の抑制や歳入の見直しに取り組みできました。

平成20年度までの進捗状況については、138項目中目標を達成したものの、一部実施中、検討協議中のものを含めますと132件で約96%となっています。効果等の側面から取り組みを中止したものが6件ですが、おおむね計画に沿って順調に進んでいるところです。

第2期の改革については、今まで以上に効率性に重点を置く改革へと視点を換え、市民生活の向上や地域経済の発展に努め、多様化する地域や住民ニーズに対応すべく職員の資質の向上や内部統制の強化を図りながら、次代を担う人材育成にも取り組み、5年、10年先の大洲市が安定した行財政運営を持続できるための基盤づくりを行いたいと考えています。

茶業振興

問 事業主体等について

答 現在進めている茶業の振興については、当局における耕作放棄地の再生と地域農業の活性化を目的として、国営開発農地を中心に新たな土地利用型の戦略的作物として推進を図ろうとしているものですが、適地圃場の選定、栽培の条件の検証、農地の集積及び経営組織の設立などさまざまな課題があります。

事業主体については、農地の借り受けのできる農業生産法人のうち、株式会社
広大に植栽された大分県杵築市の茶園

